

## 人間歯科学研究会報

人間歯科学研究会

〒567-0883 茨木市大手町 7-26

FAX 072-626-6519

E-mail [yoshihara@gold.ocn.ne.jp](mailto:yoshihara@gold.ocn.ne.jp)

---

39年の間に、毎年歯科健康診断に来ていた「昔子ども今おとな」たちで、夏の暑い日の診療室はまるで「昔ばなしの館」か「千と千尋の世界」となる。中には「やっぱりここが一番落ち着くなあ」と言ったり、イビキをかいて眠ってしまう大物(?)もいる。

歯科関係はもとより、地球環境を考慮した冷暖房器やエンジンを作ったり、トウモロコシからプラスチックやオイルを作り、キシリトールやバイオゴムで体温調節や癌細胞をやっつける研究をしている学者たちもいる。

多くは、子どものころに話し合ったことの夢がかなった者たちである。

変化の乏しかった歯科界も、ようやく 21 世紀の科学の進歩に影響を受けて著しく飛躍し始めている。最早、歯と口だけの話や診断と治療だけでは子ども たちに通用しない。

人間として全身を診て、親・兄弟姉妹、祖父母から、果ては祖先までを読み取り、未来の予測を立てることができなければならない。

有り難いことに、パーソナルコンピューターがオフィスコンピューターと変わらぬ実力を持ち始めたので、長期の多くのデータの積み重ねができるようになった。歯科医師やスタッフがその気になれば、口腔衛生やむし歯、歯周病あるいは補綴物の管理だけでなく、発育や発達そして既往歴や特徴的な全身症など、個人情報 のすべてを記録管理できる。

30 年間の研究経験から、バイオタイプにこだわった形態と材質で、新たなチューイングブラシ「かむかむ」が 8 月中に完成するので、平穴植毛歯ブラシシリーズや二段植毛歯ブラシ、そしてコロコロブラシなどを生かして「予防歯科システム」も急速に進歩するのは明らかである。

これもコンピューターの進歩と、先生方からの長期情報提供によるご協力の影響が大きい。

30 年後の結果が楽しみになってきた。

「長期予防システムへの挑戦」が今月の合言葉です。